

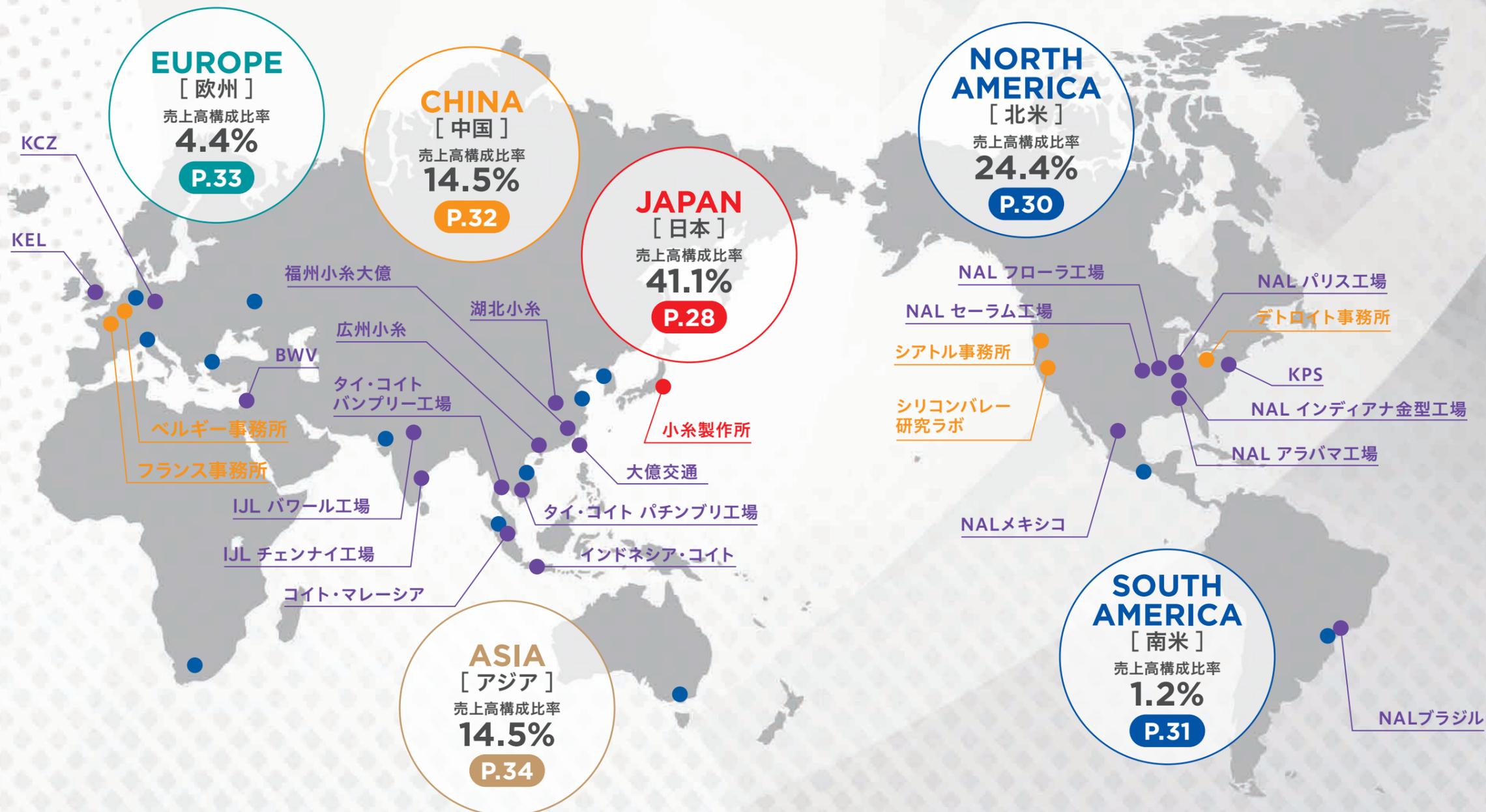
事業概況

KOITOグループは、国内16社、海外12カ国15社の計31社で構成され、世界5極(日本・米州・中国・欧州・アジア)のグローバルネットワークにより、世界中のお客様に製品・サービスを提供しています。

グローバルな視点で各国のニーズを的確に捉えた開発・生産体制を展開するとともに、グループ全社を挙げて、「お客様第一」を基本に世界最高のQCDD(Quality, Cost, Delivery, Development)を追求し続けています。

グローバルネットワークを活かした関係会社間における相互補完・相互供給により、コロナ禍においても世界中のお客様に安定して製品・サービスを提供しています。

●本社 ●海外関係会社 ●海外技術供与会社 ●海外事務所



BUSINESS OVERVIEW

JAPAN [日本]

2021年度の国内自動車生産は、新型コロナウイルスや半導体不足等の影響により3期連続の減産となりました。

自動車生産台数の減少により、売上高は前期比8.4%減の3,123億円となりました。

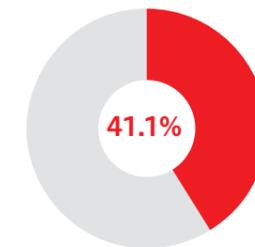


売上高



売上高構成比率 [日本]

2021年度



小糸製作所

小糸製作所は、静岡工場を中心とした静岡県内4工場にて自動車照明器を生産・供給しています。生産から物流までを効率よく整流化させる生産方式を導入し、多品種少量生産の独自のノウハウを盛り込んだ生産システムを構築しています。

ランプの光源からアッセンブリー・制御までの一貫生産体制を有する静岡工場をマザー工場として、KOITOグループの国内外各拠点に独自の生産システムを展開、優れた生産性と高い品質の維持・向上を図っています。

研究開発においては、静岡工場内の技術センターが製品の開発・設計・実験に加え、新光源の開発、先進運転システム・自動運転に向けた先進技術開発など、KOITOグループの研究開発体制の中核を担っています。2020年には、愛知県に小糸開発センターを開設、技術センターとともに製品開発機能の強化、製品機能の高度化・複雑化への対応強化、Q(品質)・C(コスト)・D(デリバリー)・D(開発)の更なる充実などを図っています。

小糸九州

小糸九州は、九州・中国地方の自動車メーカーへの供給体制強化として2005年に設立され、2006年工場開設、2008年には工場拡張し、自動車照明器を生産・供給しています。

小糸製作所と連携した相互供給・相互補完により、生産効率向上、物流費低減などQCDの強化を図るとともに、災害時のリスク分散なども担っています。



小糸九州 本社・工場

その他の国内関係会社

その他の国内関係会社では、標識灯・補助灯、各種小型電球、電子部品の製造や自動車ランプ用金型の製造など自動車照明関連事業に加え、輸送事業等を展開しています。

自動車照明関連以外としては、コイト電工などが鉄道車両シート・制御機器などの鉄道車両機器事業や、道路交通信号機・交通管制システムなどの交通システム機器事業等を展開しています。道路交通信号機事業におけるコイト電工の国内シェアは約30%と、国内トップとなっています。



コイト電工 本社・富士長泉工場



本社



静岡工場



榛原工場



相良工場



富士川工機工場



技術センター



小糸開発センター

NORTH AMERICA [北米]

2021年度の北米自動車生産は、1,300万台レベルと、前期に引き続き低調でした。北米においては、米国、及びメキシコにて事業を展開しています。

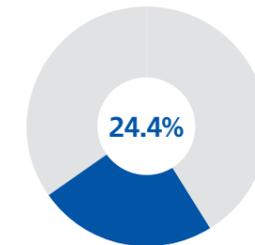
自動車生産台数は前期並みとなるなか、新規受注や自動車ランプのLED化進展等により、売上高は前期比29.4%増の1,855億円となりました。

売上高



売上高構成比率 [北米]

2021年度



United States (米国)

米国では、ノース・アメリカン・ライティング・インク(NAL)にて事業を展開しています。NALは、イリノイ州のパリス工場、フローラ工場、セーラム工場、及び米国南部のアラバマ工場の計4工場にて自動車照明器を生産。全米No.1の独立系ランプメーカーとして、米系、及びすべての日系自動車メーカーへ納入しています。また、インディアナ州のインディアナ金型工場にて金型を製造。研究開発については、ミシガン州の技術センターにて製品開発を進めるとともに、シリコンバレー研究ラボでは、先進運転支援システム(ADAS)や自動運転技術の研究・情報収集を行っています。自動車照明関連以外の事業として、KPS N.A., INC.にて、鉄道車両用電装品の製造・販売を行っています。



■ NAL 本社 (パリス)



■ NAL パリス工場



■ NAL フローラ工場



■ NAL セーラム工場



■ NAL アラバマ工場



■ NAL インディアナ金型工場



■ NAL 技術センター



■ NAL シリコンバレー研究ラボ

Mexico (メキシコ)

2014年9月に自動車照明器の生産を開始したノース・アメリカン・ライティング・メキシコ(NALメキシコ)は、拡大するメキシコの自動車生産に対応しています。



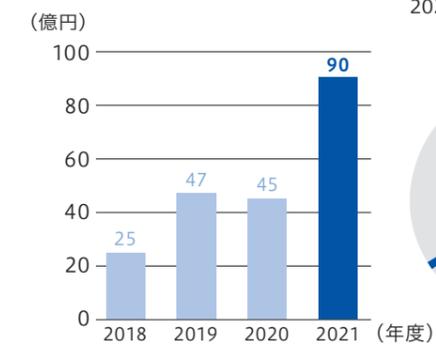
■ NALメキシコ

SOUTH AMERICA [南米]

2021年度の南米自動車生産は、260万台レベルと前期に比べ増加しました。

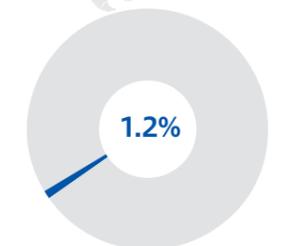
自動車生産台数の増加や新規受注、自動車ランプのLED化進展等により、売上高は前期比97.9%増の90億円となりました。

売上高



売上高構成比率 [南米]

2021年度



Brazil (ブラジル)

自動車産業の中長期的な成長が期待されている南米市場への対応として、2017年1月、ブラジル サンパウロ州にエヌ・エー・エル・ド・ブラジル・インドゥストリア・イ・コメルシオ・デ・コンポーネンテス・ジ・イルミナサン・オリミターダ(NALブラジル)を設立、2018年5月より生産を開始しました。



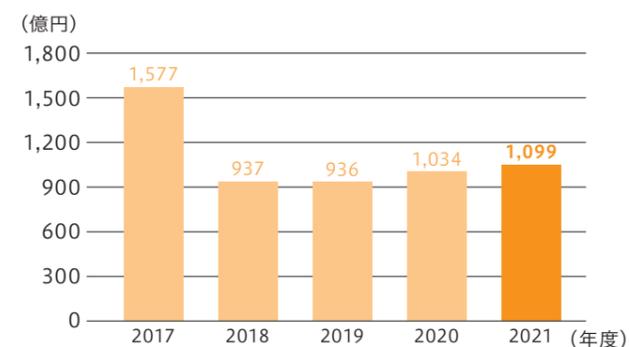
■ NALブラジル

CHINA [中国]

2021年度の中国自動車生産は、2,600万台レベルと前期に比べ減少しました。

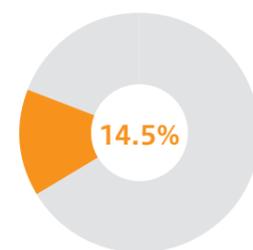
自動車生産台数は減少しましたが、為替換算の影響等により、売上高は前期比6.3%増の1,099億円となりました。

売上高



売上高構成比率 [中国]

2021年度



EUROPE [欧州]

2021年度の欧州自動車生産は、1,100万台レベルと前期に比べ減少しました。欧州においては、英国、及びチェコにて事業を展開しています。

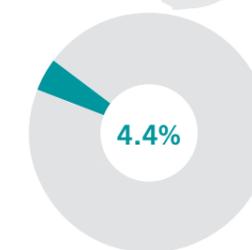
自動車生産台数は減少しましたが、為替換算の影響等により、売上高は前期比20.7%増の333億円となりました。

売上高



売上高構成比率 [欧州]

2021年度



United Kingdom (英国)

英国では、当社初の欧州生産拠点として、1996年よりコイト・ヨーロッパ・リミテッド(KEL)にて自動車照明器を生産しています。



KEL

Czech Republic (チェコ)

チェコでは、コイト・チェコス.r.o. (KCZ)にて自動車照明器を生産しています。新規受注の増加に対応するため、2020年5月に工場建屋を拡張しました。

研究開発については、KCZの技術セクションにて展開、技術情報の収集から、現地、及び日系自動車メーカー向けの開発・設計を行っています。



KCZ



KCZ 技術セクション

中国においては、広州小糸車灯有限公司(広州小糸)、湖北小糸車灯有限公司(湖北小糸)、及び福州小糸大億車灯有限公司(福州小糸大億)の3社にて自動車照明器事業を展開しています。

研究開発においては、2022年9月、広州小糸に技術センターを開設し、現地ニーズへの対応強化を図ってまいります。



広州小糸



広州小糸 技術センター(2022年9月開設予定)



湖北小糸



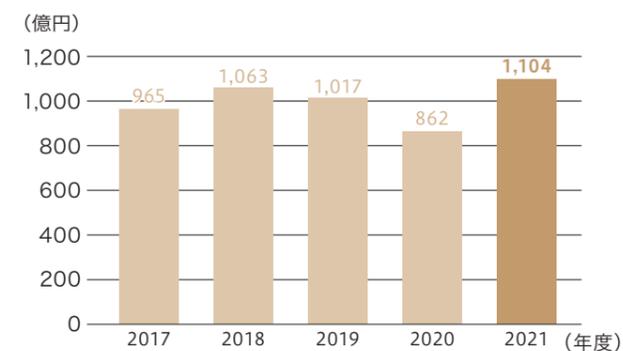
福州小糸大億

ASIA [アジア]

2021年度は、タイ・インドネシア・インド等において前期比増産となり、アジアの自動車生産は前期に比べ増加しました。アジアにおいては、タイ、インドネシア、台湾、インド、マレーシアにて事業を展開しています。

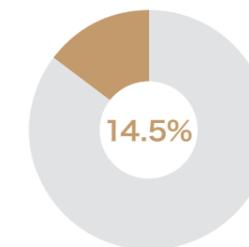
自動車生産台数の増加や新規受注、自動車ランプのLED化進展等により、売上高は前期比28.0%増の1,104億円となりました。

売上高



売上高構成比率 [アジア]

2021年度



Thailand (タイ)

アジア自動車産業の中心であるタイにおいては、タイ・コイト・カンパニー・リミテッド(タイ・コイト)がバンブリー工場、及びパチンプリ工場の2工場にて対応。日系自動車メーカーのすべてに自動車照明器を納入しています。また、タイ・コイトの技術センターを中心に、アジア地域における開発体制を強化しています。



■ タイ・コイト バンブリー工場



■ タイ・コイト パチンプリ工場



■ タイ・コイト 技術センター

India (インド)

長期的な自動車産業の成長が期待されるインドでは、インディア・ジャパン・ライティング・プライベート・リミテッド (IJL) が事業を展開。チェンナイ工場、及びパワール工場の2工場にて自動車照明器を生産しています。



■ IJL チェンナイ工場



■ IJL パワール工場

Indonesia (インドネシア)

インドネシアでは、PT. インドネシア・コイト(インドネシア・コイト)にて四輪・二輪車用ランプを生産しています。将来の更なる受注増加に対応するため、2019年3月に工場を拡張しました。



■ インドネシア・コイト

Taiwan (台湾)

台湾では、1988年に資本参加した大億交通工業製造股份有限公司(大億交通)が事業を展開しています。



■ 大億交通

Malaysia (マレーシア)

ASEAN地域第3位の自動車生産国マレーシアにおいては、2017年10月、コイト・マレーシア・エス・ディ・エヌ・ビィ・エッチ・ディ(コイト・マレーシア)を設立。2019年11月に生産を開始しました。



■ コイト・マレーシア